

平成25年度第1回契約監視委員会が、平成25年9月19日(木)、労働者健康福祉機構18階会議室において開催されましたので、その議事概要についてお知らせいたします。

平成25年度 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 第1回契約監視委員会議事概要

| | | |
|--|---|--------|
| 開催日及び場所 | 平成25年9月19日(木) 10:55～ 11:40 独立行政法人 労働者健康福祉機構18階会議室 | |
| 委員 | 委員 田極春美(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)主任研究員) 委員 竹内啓博(公認会計士) 委員 山本勲(慶應義塾大学商学部准教授) 委員 小宮山訓章(JILPT監事)(議事進行) 委員 中川幸雄(JILPT監事(非常勤)) | |
| 審議対象期間 | 1. 平成25年3月16日～平成25年9月18日に契約締結された案件 2. 平成25年9月～平成26年3月に契約締結予定の案件 | |
| 1. 競争性のない随意契約 (平成25年3月16日～平成25年9月18日契約締結) | 18 | 件 |
| 2. 一者応札・一者応募 (平成25年3月16日～平成25年9月18日契約締結) | 3 | 件 |
| 委員からの意見・質問、それに対する回答等 | 意見・質問 | 回答 |
| | 下記のとおり | 下記のとおり |

| 意見・質問 | 回答 |
|--|---|
| 機構側から、審議案件について契約概要を説明し、全体をご審議いただいた。 | |
| 1. 一者応札・一者応募案件(平成25年3月16日～平成25年9月18日契約締結) | |
| 【案件 1】 | |
| 「平成25年度経理システムの運用保守業務の委託」 | |
| ・著作権の問題がある既存のシステムについては、一者応札の改善は難しいのではないかと。 | ・システムの著作権を開発者が保有しており、入札辞退も著作権を理由としたものになっており、一者応札の解消は難しい状況である。 |
| ・運用保守委託とはどのような内容なのか。年間契約が必要なのか。 | ・システムの操作方法の問い合わせ対応や簡易なプログラムの修正等である。年間契約を締結しない場合、個別スポット対応となるが、かえって高くつく可能性が大きい。 |
| ・次回以降の契約締結時に少しでも有利な交渉にするためにも、運用保守契約内容や利用実績を把握しておくとい。 | ・ご指摘を踏まえ、契約内容を再精査するとともに、利用実績についてもしっかりと把握していく。 |
| 【案件 2】 | |
| 「平成25年度宅配便等配送業務の委託」 | |
| ・入札辞退理由が、①価格的に難しいこと、②配送状況の追跡・確認、配達時刻指定等の要件を満たせないこととあるが、こうした条件は、業務遂行上そもそも必要なものなのか。宅配業者は複数有るので、条件を緩和すれば一者応札の解消は出来るのではないかと。 | ・現状を確認して、必要な条件を精査し、次期入札で条件の緩和が可能か検討する。 |
| | |

| 意見・質問 | 回答 |
|--|---|
| 2. 契約事前点検(平成25年9月～平成26年3月) | |
| 【案件 1】 | |
| 人事・給与システムのリブレース(5年保守及び環境構築等) | |
| <p>・経理システムと異なり、組織統合を待たずにリブレースするのはなぜか。</p> | <p>・本システムのサーバは契約開始より5年を迎え、来年度以降、保守契約を結ばなくなること、現行システムのOSが来春マイクロソフト社によるサポートが終了するWindows XPまでにしかな動作保証していないため、技術的な側面によりWindows7に対応するシステムへのリブレースを実施するもの。</p> |
| 新図書館管理システムの調達・環境構築・運用保守管理(5年)等業務委託 | |
| <p>・総合評価落札形式による評価基準と評価基準表の構成がわかりにくいので、修正した方がよいのではないか。</p> | <p>ご指摘を踏まえ修正の上、入札参加業者がよく理解できるよう仕様の説明を行う。</p> |
| | |
| 3. 委員最終意見 | |
| <p>前年度より随意契約、一者応札とも減少し、継続的な努力によりかなり改善がなされている。引き続き努力していただきたい。</p> | |